

君に贈る物語

先輩から後輩へ、 本のレコメンデーション!!

先輩が後輩に読ませたい1冊を選び、
それぞれ感想を寄せてもらいました。

後輩：一柳 明香のレビュー

私はこの本を読んで、時代の変化に伴ってこれからどのように生きていくか改めて考えることができました。最近では、「そんなに頑張らなくてもいい」「頑張るすぎはダメ」という言葉を耳にしますが、本当にそれでいいのかと疑問に思うことがありました。だからといって自分にストイックに生きるのもハードルが高いし…と思っていたのですが、この本で頑張るすぎずに自分らしく、目標に向かってコツコツと進み続ける姿勢＝「ゆるストイック」という生き方を知りました。

また、本を読む中で「成功の対義語は、失敗ではなく無挑戦です」という言葉がとても印象に残りました。私は、何か物事に取り組む際、すべてうまくいくことを前提に考えてしまうため、失敗したらそこで諦めてしまうことが多くありました。そしてその後は、失敗したらどうしようという思いから再挑戦することをしてきませんでした。このような思考を「ゼロ失敗思考」と言うそうです。失敗することは決して恥ずかしいことではなく、むしろ成功するのに不可欠な材料であり、失敗なしに成功することはほとんど不可能であることに改めて気づかされました。今後は、失敗しないことを目指すよりも、失敗とうまく付き合って「失敗に慣れる」ことを目指し、色々なことに挑戦していこうと思います。



先輩：千田 拓実のレビュー

「ゆるストイック」という聞いたことのないキャッチーな語感に惹かれ本書を手に取りました。中身に目を向けるとThe意識高い系の本に若干苦手意識のある私にとっては、極端なスタイルを推奨せず時代に即した思考法が図示とともに解説されていて、とても読みやすい内容でした。ある意味イマドキな内容は、後輩である2年目の一柳さんにとっても共感性が高く、ひとつの指針にもなりうるピッタリな一冊だと思いこの本を選びました。

著者はゆるストイックを「自分に厳しくストイックでありながら、他人に自分の価値観を押し付けない柔軟さをもつ生き方」と定義しています。私が印象に残っているのは「意志に頼らず、習慣に頼る」という言葉です。意志力はゲームでいう「MP（マジックポイント）」と表現しており、新しいことを挑戦する上で心身の疲れになるため大事な局面でのみ発揮し、小さな新しいことは日頃から習慣化することがカギと述べられています。日々の僅かな積み重ねにより、心理的ハードルを下げつつも成長を継続するという考え方は参考になりました。

その他にも、単に仕事のみならず日常生活から取り入れられる考え方も多く、意識高い系・低い系の2極化で考えがちだった頭を改めて整理することができました。今の自身のスタイルに疑問を持つ方や見つけ直したい方におすすめの一冊です。

今回の書籍

『ゆるストイック
ノイズに邪魔されず1日を積み上げる思考』
著者：佐藤航陽
出版：ダイヤモンド社
価格：¥1,760（税込）

マーケティンググループ
一柳 明香

マーケティンググループ
千田 拓実

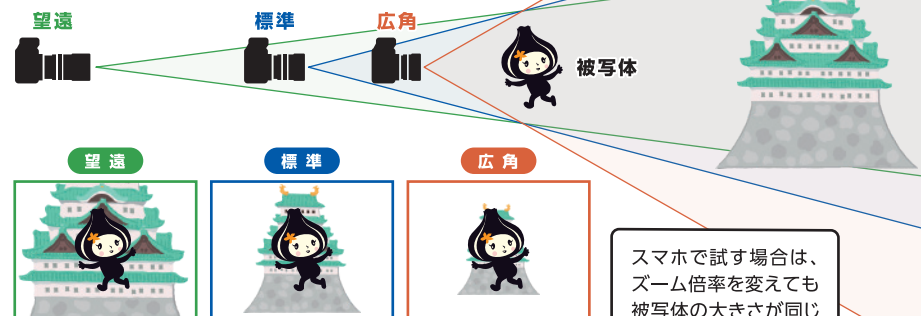


ぶちデザイン講座 for ノン・デザイナーさん

Lesson#22 「圧縮効果」ってなに？写真に迫力を出すテクニック

「圧縮効果」とは、望遠で撮影した際に背景と被写体が近づいて見える現象です。実際の距離は変わりませんが、遠近感が弱まり、背景が大きく迫って見えるのが特徴です。逆に遠近感を強調したいときは広角レンズを使います。

圧縮効果の仕組み



圧縮効果の活用シーン

- 表紙や扉頁の写真：主役を引き立てつつ、背景も迫力あるビジュアルに
- 料理写真：料理同士の距離が縮まり、華やかさやボリューム感がアップ
- 商品写真：商品がぎゅっと並んで見え、高密度で統一感のある1枚に

スマホで試す場合は、ズーム倍率を変えても被写体の大きさが同じになるように距離を調整して撮ってみてね！背景の見え方が変わって「圧縮効果」を感じられるよ。



～編集後記～

▶ 昨年本誌の記事で取り上げた花火大会、そして今回中面で紹介したフェスも少し前までは「夏の風物詩」と言えるものでしたが、近年は気候の良い時期に催されるケースが増えています。参加者の安全と快適性、主催者のさまざまな負担軽減も考慮するなら賢明な策かもしれません。とはいえ暑さの中でこそ味わえるあの独特の高揚感や風情が失われていくのは少々寂しい気も。気候変動が進む未来の夏はどう変わっていくのか気になるところです。

▶ 夏といえば、「夏生まれの子どもは暑さに強い」と言われることもあります。しかし、みなさんの周りでも「夏生まれだけど暑さは苦手」という人は結構いるのでは？これは冷房が発達していなかった時代に「生まれてすぐに暑さを経験すると上手に汗をかけるようになるから」と考えられていたもの。実際のところ、暑さへの耐性は遺伝的な要素や生活習慣によるところが大きいのだそうです。災害級とも言われる昨今の暑さ、夏生まれの人ならずともみなさんくれぐれも過信せず、熱中症対策を万全にして夏をエンジョイされますように。

SARADA GEKIDAN

サラダ劇団

VOL. 85 2025

駒田印刷株式会社

この情報紙は駒田印刷とお取引頂いたお客様や、名刺交換をさせて頂いた方に、季刊で役立つ？ 楽しい？ 情報をお届けしています。どうぞ皆様でご回覧ください。また、毎号同梱している人気のオマケグッズも、ぜひデスク周りやご家庭でお使いくださいネ！

Tel:(052)331-8881 (代) Fax:(052)332-3178 <https://www.kp-c.co.jp>



ゆうメール



暑い夏に食べたい
冷たい麺類
作ってみた！

食欲を落としがちな夏場は、つるつと食べられる冷たい麺で、おいしく涼と元気をチャージ！
人気レシピサイト「クラシル」掲載の麺料理にコマダグループの面々が挑戦しました。

ピリ辛 冷やし塩ラーメン

【材料】中華麺、水、鶏ガラスープの素、塩、おろしニンニク、酢、キムチ、豆板醤、ブロッコリー、温泉卵

高山 竜代
(駒田印刷)

レシピサイトには「中華風」とありましたが、さっぱりとごまの風味が楽しめる一品です。家にあったミョウガをトッピングしてみたら大正解でした。そうめんの茹で時間は短いので、他の材料を準備しておくのが調理のコツ。冷たさを重視するのなら水の分量を減らして氷を入れるといいと思います。

根間 庸輔
(エイコープリント根間印刷営業所)

おろしニンニクとキムチでパンチのある味わいです。辛党の人は豆板醤を多めにすると、よりおいしくなります。キンキンに冷やして食べたいので、スープは前日から作って冷やしておくのが◎。温泉卵は市販のものを使うと楽です。かいわれ大根の代わりに冷蔵庫にある青みの野菜でもイケますよ！

クラシル

ぎゅうりとツナのごまたっぷりそうめん

【材料】そうめん、きゅうり、みょうが、塩、ツナ油漬、水、めんつゆ、白いりごま、ごま油、鶏ガラスープの素

角田 若菜
(エイコープリント)

結構辛さがきます。暑い日にキンキンに冷やしたビールとよく合うと思います。クラシルには「調理時間20分」とありましたが、作り方はとても簡単で、自分は10分以内でできました！これまでレシピサイトを見て料理することがなかったのですが、結構手軽なので他も作ってみたいになりました。

日置 伸幸
(伊勢出版)

この時期多く出回る野菜がメインなので材料が揃えやすく、作り方も簡単です。シンプルにトマトの酸味とオクラの粘りを楽しむパスタですが、ボリュームを出したいときはツナやベーコンなどのトッピングがおすすめ。濃い目の味が好きな人は、トマトケチャップやソースなどを加えてもいいかも。

クラシル

オクラとトマトのさっぱりパスタ

【材料】スパゲティ、オクラ、トマト、大葉、しょうゆ、酢、砂糖、ごま油、塩

クラシル

豚キムチの旨辛冷やし中華

【材料】中華麺、豚バラ肉、キムチ、しょうゆ、酢、砂糖、ラー油、酒、小ねぎ

クラシル

SPECIAL★おまけ

デンタルフロススティックでお口の中スッキリ！

個別包装になっているので外出先でも衛生的に歯間ケアができます！



コマダグループ

駒田印刷(株)／アドシンク(株)／(株)伊勢出版（津市）／(株)エイコープリント（横浜市・大阪市）

ツウが教える、 Wonderful World!

行ったらハマる!フェスの醍醐味

このコーナーでは、ある方面に詳しいコマダグループ各社のスタッフが登場。
今回は音楽好きのスタッフから、フェスの魅力や楽しむコツを教えてください。

ようこそ!
ツウの世界へ



おすすめフェスは、こちら! //

《 イナズマロック フェス 》

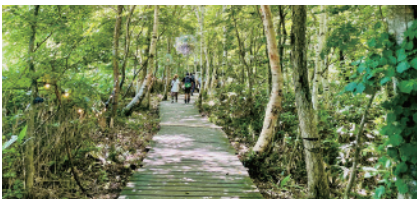
 琵琶湖越しに広がる会場風景が素晴らしい!今年も9月20~21日に開催されます。
(根間印刷営業所 中山千春)

《 森、道、市場 》

 今年も愛知県蒲郡市で5月に開催されましたが、音楽以外にも「モノとごはん」のショップが大充実!チケット代が安く、ラグーナテンボスの遊園地でも遊べて家族連れにはもってこいです。(駒田印刷 戸田淳毅)

《 フジロックフェスティバル 》

 ステージの規模がさまざまで気分に合わせて好きな場所で楽しめるのが◎。移動はちょっとした登山のようですが、それも魅力のうちです。(駒田印刷 石原佳代子)



フジロックの森の中にあるボードウォーク



ラグーナテンボスは夏の音楽フェス「TREASURE05X」も開催されます

フェスだからこその楽しみ! //

《 知らないアーティストの魅力発見 》

 お目当てが出演する前から場所をとっているときも、知らない音楽に触れる機会なので「地蔵」にならずに楽しみましょう。(根間印刷営業所 鏡原以希)

《 このときだけの奇跡を! 》

 2023年に終了したフェスですが「横浜レゲエ祭」ではrainbowという曲のとき、本当に空に虹が!そんな奇跡が起きるのも野外フェスならではの。(駒田印刷 宮丸貴臣)

快適に楽しむための心得 //

《 服装や持ち物は? 》

 靴は絶対スニーカー。デニムは暑いので注意を。荷物は最小限にしてボディバッグやサコッシュ。髪が長い人は結ぶかお団子にするといいですよ。(駒田印刷 石原陽渚)

 タイムテーブルをアプリで見たり、グッズや飲食をキャッシュレス決済したりするので、モバイルバッテリーは必携。
(根間印刷営業所 鏡原以希)

《 暑さ・疲労などの対策は? 》

 暑さにやられて好きなアーティストを見逃したことがあるので、水分はケチらず買いましょう!(駒田印刷 田中彼方)

フェスは一日を通して長期戦になるので休憩を上手にとって。長時間待つことがあるので折りたたみ椅子があると便利。(根間印刷営業所 中山千春)

自分の体力を過信せず、お酒はほどほどに。自然豊かな会場なので、突然の雨や虫刺され対策も怠りなく。救護室の場所は事前に確認しましょう。
(駒田印刷 石原佳代子)



Good Company, Good Job!

きらりと光る 施設さん

このコーナーではコマダグループ各社とお付き合いのある施設をご紹介します。
今回は名古屋市の栄エリアに位置する758キッズステーションさん。登録不要・利用料無料の親子の遊び場「キッズパーク」をはじめ、さまざまなイベントや講座、相談業務などを通して、市民の子育てを応援する公共施設です。



講座の一例：子育てパパをつなぐ場

買い物ついでに気軽に寄れる親子のためのスペース

「758(ナゴヤ)キッズステーション」は、名古屋市の子育て支援の中核施設です。カーペット敷きのスペース「キッズパーク」には、0~3歳ごろのお子さん向けのおもちゃや絵本が置いてあり、施設内には授乳室、おむつ替えベッド、ミルク用のポット・湯冷まし、ウォーターサーバー、電子レンジを備え、「キッズパーク」の利用者以外にも開放。さらに「マルチルーム」は講座で使用していない時間帯には食事スペースとして利用できます。立地も名古屋の中心街・栄エリアに位置し、土日もオープンしているため、お出かけの途中に気軽に子どもを遊ばせたり、親子でくつろいだりと、小さなお子さん連れにはとにかくありがたい場所です。ママのお買い物の間、子どもと一緒に過ごすパパたちの利用も増えているそうです。

加えて「758キッズステーション」は、子育てに関する相談、イベント、各種講座も年間70回ほど開催しており、特にこれからママ・パパになる人、そしてパパ向けの講座に力を入れています。また、ひとり親や双子・三つ子の親どうしの交流会なども催されています。

核家族化・少子化が進む現代社会は、子育ても一人で悩みやストレスを抱えがち。そんなママ・パパの力になり、子どものすこやかな成長と笑顔のために「758キッズステーション」は今後も大学や企業とも連携を図りながら、さらにその存在を広く知ってもらう機会を創りだそうとしています。

information

News 01 当社デザイナーからまた1名、 技能検定の1級合格者が出ました!

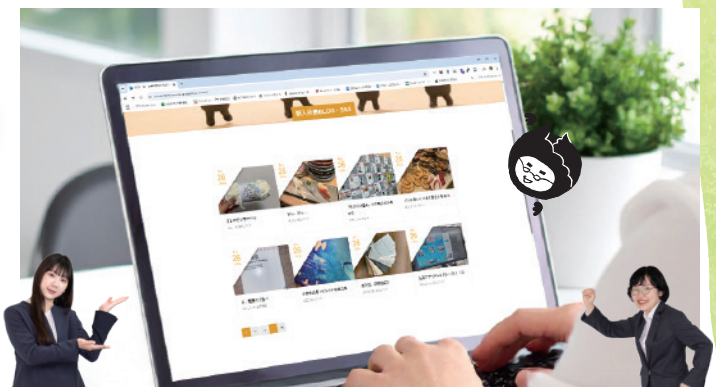


この度、プリプレスグループ所属の石原さんがプリプレス(DTP作業)の1級技能検定に合格し、「1級プリプレス技能士」の資格を取得しました。
技能検定とは、働くうえで身につける、または必要とされる技能の習得レベルを評価する国家検定制度で「技能士」と名乗ることができます。

上に掲載している印刷物は彼女が手掛けたデザインの一部。日頃からセンスアップのための努力も欠かさない石原さん。ポップで目を引く素敵なデザインが得意です!

駒田印刷はお届けする商品・サービスの品質向上を目的に、社員教育の一環として資格取得の取り組みをこれからも推進していきます。

News 02 新入社員が初期導入研修を修了。 研修の一環のblog投稿も完走!



当社では毎年、新入社員研修の一環として、特別なプログラムを実施しています。通常のOJTとは別に、それぞれが「1年後の理想の姿」と「現在の自分」を比較し、足りない力や学ぶべきことを見つけ出し、解決に向けた行動を企画・実行。そのプロセスを週1回、全8回のblogで発信します。記事は採用サイトに掲載され、就活生が見られる形に。さらに先輩社員からのコメントも寄せられ、励ましやアドバイスが後輩たちの背中を押しています。

自ら課題を見つけ、試行錯誤しながら行動する力は、今後の成長の土台となるはず。blogという発信の形を通して、社内外に成長の軌跡を残す貴重な機会となっています。→<https://recruit2027.komada.group>

「着替えも食べ物も現地調達できるし、なんとかなります!」「いつか見に行きたいと思っていたアーティストが亡くなってしまって…。気になっている人がいるなら行ける時にぜひ!」という声も。夏はもちろん最近
は秋以降に多数開催されるフェス。未経験のあなたもその魅力に思い切ってダイブしてみたらハマるかも?

イナズマロック フェスの会場となる烏丸半島